



# アプリのこと



仙台フォーラスで開催されました、つどいの家後援会主催の「なりきりコンテスト写真展」。「ギタリスト」として撮影に参加されたミントグループの千葉路義さんと一緒に会場まで足を運んできました。市街地への外出活動は久しぶりで当日は冬の冷たいビル風が吹いていましたが、ご自身の写真を手にされた千葉さんの笑顔から暖かな春のきざしが見え隠れする1枚になりました。  
(記：高橋俊)

# スニユム ソクモ!

※マレーシア語で「いつも笑顔で」

今年の冬は大雪になる日があったものの、全体的には雪かきを行う日は少なく、3月になるとずいぶん暖かい日もあり、過ごしやすかったように感じます。とはいえ、まだ寒かった1～2月に宮城県社会福祉士会主催の権利擁護研修を受講しました。研修では、事例も多く紹介されどのようなことが虐待行為なのか説明がありましたが、それと同時に職員の状況にも言及されていました。職員同士がお互いを大切に思う関係性があると、職員が十分に努力することができ、利用者へよい関わりができるとのこと。講師から“最近、職員からほめられましたか?”と問いかけがあり、振り返ってみると…私のことを認めてくれるような声をたくさんいただいていたことに気が付きました。管理者は支援する職員を支援するのが役割のひとつですが、職員にはいつも助けられていたと思います。職員だけでなく、利用者・ご家族の方々、地域の皆さまにも助けていただきました。感謝しかありません。私も、相手を大切に思うだけでなく、ちゃんと態度とことばで伝えていきたいです。

最後に私事ではございますが、4月からぴぽっと支倉(仙台市青葉区支倉)へ異動になりました。4年間ありがとうございました。次年度より行事等も再開できればと考えております。これからも 社会福祉法人つどいの家 つどいの家・アプリを応援してください。(加藤裕絵)

## 【お詫び】「アプリのこと」第91号 アスム研修報告 掲載図について

一般社団法人アスム地域研修センター様よりご教授を受けた研修について報告した記事の図(冰山モデル、構造化)ですが、研修で使用した資料とは異なるものを掲載してしまいました。研修内容に誤解を生じてしまう内容になり申し訳ございませんでした。今後このようなことがないように十分注意してまいります。(つどいの家・アプリ 管理者 加藤裕絵)

## 研修報告



仙台市知的障害者関係団体連絡協議会で行われた福祉フォーラムに参加させていただきました。人口減少、高齢化の地域で強度行動障害のある方の支援や地域移行支援について先進的な取り組みを行っている社会福祉法人高水福祉会(長野県)と意思決定支援チームを構成するなど、重度知的障害の方をはじめすべての利用者を対象とした意思決定支援の取り組みを先進的に行っている社会福祉法人かながわ共同会(神奈川県)の視察研修についての発表をお聞きしました。

高水福祉会の「できるだけロマンやファンタジーを排除した支援」という言葉が印象に残り、実際のケースをもとに、現場での行動についてエピソード(～したら、～してくれた。)を含めて記録し利用者の特性と環境の課題を分析、考察してアプローチしていくことで行動の改善が見られたとお話があった。支援者の感情面のかかわりではなく、日々のかかわりの中で本人の状況や環境、障害特性を把握し、支援を積み重ねて相手を知っていくことが意思決定支援の場面にもつながっていくのではないかと感じました。

今回の研修での学びを忘れず、利用者の発信を見逃さないよう日々のかかわりを丁寧に積み重ねてかかわっていききたいと感じました。(記:阿部)





# 航輝さん、有乃さん成人おめでとう！

1月23日に山本航輝さんと本郷有乃さんの「令和4年度 二十歳を祝う会」を行いました。当日航輝さんはピシッとカッコ良いスーツ、有乃さんはお母様お手製の素敵な衣装で参加されました。鶴谷特別支援学校の小山弘子先生と佐藤諒先生に出席して頂き、先生方との再会に2人とも大喜び！お世話になっている事業所や先生からも、心温まるお祝いメッセージをいただき、生い立ちムービーも上映し、会場全体が温かい笑顔に包まれていました。航輝さん、有乃さん、これからもアプリでたくさんの笑顔を見せて下さいね。（記：山添）



各グループに今年1年の振り返りについてお話を聞いてみました！

## カモミールグループ



今年度のカモミールグループは、利用者も職員もみんなで様々なことにチャレンジすること、「今、その心は？」と気持ちに寄り添いながら活動していくことを目標にしていました。1年を通して感染対策に努めながら、大好きなあんこやスイーツ、パンを買いに外出したり、公園で元気いっぱい身体を動かしたり、毎日笑いの絶えない1日1日を過ごすことができました。みなさん、一人ひとり様々な方法で気持ちを発信して下さり、職員もその発信を大切に、日々コミュニケーションをとって一緒に歩いていく毎日でした。振り返ると楽しかった思い出、たくさん笑った思い出ばかり浮かんでいきます。次は山形に行きたいな、新幹線にも乗りたいな、好きな人と外出したいな、季節限定のスイーツ発見！！買いに行かないと！！アート作品を展示したいな…！！まだまだチャレンジしたいことがいっぱいです。来年度も、みなさんの「チャレンジしてみたい！」に寄り添い、一緒に希望に向かって歩いていきたいです。

(記：榊原)



## ミントグループ



今年度のミントグループは「わくわく・ときどき・きらきら」な活動を目指し、職員一人ひとりが、利用者の気持ちに寄り添う姿勢を大事にしながら活動を行ってきました。今年度もコロナの影響で長期にお休みされている利用者が多かったため、オンラインで自宅から参加できる活動を取り入れ、誕生会やハロウィンなどのイベントや、クリスマス会では、各家庭にハンドベルを届け、みんなで演奏するなど一緒に活動ができるよう工夫しました。コロナ禍ではありましたが、利用者宅に伺い、栗拾いをしたり、秋保大滝や定義山、やくらいガーデン、期日前投票など様々な場所への外出活動も行いました。また、言葉でのコミュニケーションが難しい利用者のために視線入力も取り入れました。今年度は新しいことにチャレンジし、とても充実した1年でした。来年度もコロナに負けず、工夫しながら楽しい活動ができればと思います。

(記：沼田)



## バジルグループ



今年度のバジルグループは、楽しく過ごせるように健康管理をしながら様々なことにチャレンジしていこう。という目標のもと、コロナウィルス感染対策をしながら外出や、室内でのストレッチ運動など実施してきました。

外出では、ブドウ狩りに行ったり、お寿司を食べに行ったりと利用者と職員と一緒に計画を立て、共に楽しめる活動を行いました。愛島台公園など初めて行く場所にも多く出掛けましたが、みんな楽しく、また元気にたくさん歩く事が出来ました。

来年度もみんな健康管理を行いながら、また新たな場所への外出やストレッチ運動など色々な活動にチャレンジして行こうと思っています。

(記：山口)



## クレソンジャスミングループ



今年度のクレソンジャスミングループは「挑戦」をテーマに色々な事を利用者と一緒に体験し、個々の可能性を広げられるような取り組みをしてきました。外出では、サーカスや万華鏡美術館、他事業所との交流やランチ外出、フードバンクや会報配布など感染対策を行いながら出掛けました。また、室内活動では利用者それぞれの強みを活かし、環境整備を行うことで、一人でできる事が少しずつ増えてきました。中でも、順番を待つことができるようになった方、事前に約束事を決めるとそれを守ろうとする方など大きな変化が印象的でした。

地域への発信として、HPによるクレジャスの活動だよりは、次年度でも継続し地域に発信できるよう定期的に更新したいと思います。

(記：櫻井)



# なりきりコンテスト開催！



レディース&ジェントルメン！いよいよ「なりきりコンテスト」の幕が切って落とされました！まずは、普段着とは異なり、大人な雰囲気ドレスに身を包んだ小林敦子さん。花束を手にポーズ！隣には…こちらも素敵なタキシードで、髪型もばっちりキメた千葉路義さん。ギターを抱えてオンステージ。熱のこもった演奏でした。続いては…なんと純白のウエディングドレスの齋藤加奈さん。満面の笑みの加奈さんとは対照的に、娘の花嫁姿を見たお母様の目には光るものが(涙)。会場からも声援が飛びました。そして、長い手足を活かし、エレキギターを手にばっちりポーズをきめている大山健太さん。某有名アニメのキャラクターの衣装をアレンジして、ノリノリで会場を沸かせています。続いて路義さんが2着目に選んだのは…なんと！ツタンカーメン？王様の貫禄たっぷり、黄金の衣装に身を包んでいました。K.H.さんはジーンズのジャケット、帽子にサングラスで少しラフな感じを演出。ドラムに座ると軽快にリズムを刻み、表情はドラマーそのものでした。梶井亜美さんは赤いオーガンジーのドレスに嬉しそうな様子。花に囲まれ、ポーズで少しはにかんだ笑顔でした。最後は後藤恭子さん。真っ白なウエディングドレスとヴェール、手には一輪の赤いバラ。満面の笑顔は、まるで結婚式当日で幸せいっぱいの花嫁のようでした。誰でもいつもと違う自分に変身するのを楽しんでいる様子でした。次はどんな衣装で、どんな写真を撮りましょうか？📷🌟撮影当日、着付けやメイキャップにと多大なご協力いただきました「美ようしつ紫」さま、本当に有難うございました。これら写真は、法人内他事業所で撮影したものととも、2月18日から21日まで一番町の仙台フォーラスに展示されました。ご来場の皆様ありがとうございました。(記：東海林)

## 編集後記

みなさん、今年度はどうでしたか？私は「傘」の1年でした。つい最近、天気予報をみて準備していた傘を通勤前に行っていた場所に置き忘れ、帰る頃には雨が降り始めました。傘が朝の場所にあるか不安でしたが、落とし物コーナーに届けてくださっていました。壊れたり使った翌日持ち忘れたりするから、と思っていた折り畳み傘もそろそろ常備を考えるべきなのではないでしょうか……。しかし次はまた天気予報を見なくなる可能性が出てくるのが悩みどころです。(記：岩槻)